

- 基本的な文法の確認

「イ形容詞+である」は適格ではない

(例) バスの値段は高いである。

(例) アンカラ市内はとても広いである。

- 意見と事実の区別ができていないか。

(例) 席が満杯になる。でも、人々はドルムシュに乗る。これは大変。

(例) でも人間は危険を考えない。

- 「事実の記述」において、意図的に事実でないこと、また事実かどうか検証できないことを事実の記述であるかのように書かない。

(例) それでも、バスや地下鉄が届かない場所にも行くので便利だという人もいる。

- 名詞で文を終わらせない。

(例) それで名前はドルムシュ。

→

- 理論的な文章において、適切でない語を使わない。

1. 話し言葉を使用しない。

でも、だけど、だから、

2. 「そして」を接続語（文と文をつなぐ語）に使わない。→前の文と続く文の関係が明確

にならない

3. 強調する語の使用に注意すること。

とても、だからこそ、非常に…

4. 「なぜなら」を使用するときには、文末を「…からである」「…ためである」など一致させる

なぜなら、学生料金は安い。

なぜなら、学生料金は安いからである。

解答例 A

ドルムシュは車である。トルコであって、バスより小さいである。タクシーより安いである。ドルムシュでいつもたくさん人がある。それで名前はドルムシュである。ドルムシュはトルコ語で「いっぱい」意味である。ドルムシュに乗る時、お金を運転しにくれた。学生たちは「兄、学生一人分をくれませんか」と言った。なぜなら、学生手数料は安いである。バスは特定の停留所で乗客を降りた。でも、ドルムシュは乗客が望むところで降りた。いつも、バスと競争して、乗客ために。

解答例 B

ドルムシュは公共交通機関の一部である。自動車より広い、バスより小さい乗り物である。ドルムシュの大きさは街によって変わるが、だいたい 10 人以上の乗客を運べるものである。

他の機関との一番大きな違いは発車する時間である。ドルムシュの発車のタイミングは決まっているものではなく、全席になった時発車する。だから、ドルムシュと言われる。

ドルムシュの意味は、「空席ない」である。

トルコで一番安い公共交通機関は地下鉄で、一番高いのはタクシーである。ドルムシュの値段はその間である。

その理由は、ドルムシュの便利さと乗客の限界のバランスである。ドルムシュは地下鉄もバスも行かないところにも行く乗り物である上に、小さい乗り物である。だからこそ、バスや地下鉄に比べて高いものである。けれどもただ 3-4 人くらいの客を運ぶタクシーに比べて安いものである。

解答例 C

ドルムシュはトルコの交通手段の一つである。トルコではその他の公共交通機関としてバス、ミニバス、メトロバスが挙げられる。ドルムシュは毎日、大勢の人に利用されている。ドルムシュはバスと同じく、決まった道筋があり、料金は乗客が乗ったところから降りたいところまでの距離によって決められている。その料金は現金で、タクシーと同じく、直接に運転手に払う。ドルムシュは乗ったらすぐに料金を払うのが好ましいが、降りる前に払う人もいる。ドルムシュが混んでいる場合、もし運転者のところまで行くことができなかつたら、前の人にお金を渡すという手段も珍しくない。このように各乗客がお金を自分の前にいる人に渡して、一番前の人がお金を運転者に渡す。バスと比べると、ドルムシュのいい点の一つは速さである。そのため、特にラッシュアワーにドルムシュを利用するのは楽だと言えるだろう。またドルムシュはバスと違って、きまった停留所がないため、タクシーと同じく、乗客の降りたい場所で降りることができる。その時に運転者に聞こえられる大きさの声で、"Müsait bir yerde ineceğim"（降りたいという意味）と知らせるのが重要である。